



名取市市民活動支援センター

だより

3月号

2020 Vol.30

## 引続き 5 年間よろしくお願ひいたします !!



勤労青少年ホームを用途転換



東日本大震災後、仮設プレハブで開館



現在の市民活動支援センター

### 支援センターの変遷

名取市市民活動支援センターは、平成 18 年に勤労青少年ホームを用途転換する形でオープンして以来 13 年間にわたって名取市の市民活動とともに歩んでまいりました。当センターの管理運営に当たり名取市は、専門的なノウハウを生かすために管理運営を市外の間支援組織に委託しておりましたが、平成 27 年度から名取市に設立された中間支援組織の NPO 法人パートナーシップなとりに委託しました。平成 29 年度からは指定管理者制度を適用し、当法人が指定管理者として 3 ヶ年の管理運営を行ってまいりました。この間、NPO フォーラムをはじめ、なとセンだよりの発行等々の業務を行い、名取市での市民活動の促進に取り組んでまいりました。おかげさまで登録団体の増加や利用者の増加、民間企業との連携や空貸し事務室の解消など、市民活動の着実な進展を感じているところです。

名取市は、令和 2 年度以降の指定管理者について令和 2 年度からの 5 年間も NPO 法人パートナーシップなとりを指定し管理運営を委ねることが決定しました。当法人が蓄えてきたノウハウや情報を活用して、発展的な管理運営をすることが期待されています。

### 法人よりごあいさつ

NPO 法人パートナーシップなとりは、名取の市民活動の支援を地元の手で行うことを目的として設立された団体で、震災後の仮設プレハブに加えて新築棟もオープンした平成 27 年 4 月から名取市市民活動支援センターの管理運営に携わってまいりました。さらに名取市市民協働提案事業に採択された「名取市市民活動団体一覧」の発行や、なとセンわくわくフェスタ事務局の業務などにも取り組むことで、市民活動の促進に微力ながら貢献してこれたのではないかと感じております。これも名取市をはじめ登録団体や利用者、関係者の皆様のお陰であり厚く御礼申し上げます。

引き続き指定管理者としての指定を頂いたことは身に余る光栄ではありますが、初心を忘れることなく管理運営に取り組んでまいり所存でございますので、名取市市民活動支援センターを大いに活用して頂きますようお願い申し上げます。

名取市市民活動支援センター指定管理者  
NPO 法人パートナーシップなとり  
代表理事 阿留多伎 真人

# いよいよ休眠預金が

# 「公益活動」に活用されます

## 資金分配団体が決定!!

金融機関で10年以上出し入れのない預金を、公益活動を担うNPO法人などの民間団体の資金として活用できるようにした「休眠預金等活用法」が2018年1月に施行され、2019年1月には『一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)』が指定活用団体に決定したことは以前のなとセンだよりでお知らせしていました。

2019年11月に、JANPIAによる公募を経て資金分配団体(22団体24事業)が決定し、12月からは資金分配団体による実行団体の募集も開始され、いよいよ今春から休眠預金が公益活動に活用されます。

資金分配団体は、民間公益活動を行う実行団体に対し助成、貸付け又は出資を行う団体です。JANPIAが提示する「優先的に解決すべき社会の諸課題」の効果的・効率的な解決に向けた包括的な支援プログラムを企画・設計し、実行団体を公募で選定して、資金支援や非資金的支援を必要に応じ伴走型で提供します。

### 【休眠預金が実行団体に助成されるまでの流れ】

実行団体公募期間 2019年12月~2020年1月  
審査・選定 2020年1月~2月  
団体への助成等実施 2020年3月頃~  
実行団体の活動開始

## 優先的に解決すべき社会の諸課題

活動の促進に向けて、オールジャパンの体制で、多様なステークホルダーと連携しながら、透明、公正に制度全体の成果の最大化を図るとしています。また、SDGsの達成にも貢献するとし、「誰ひとり取り残さない持続可能な社会づくりの触媒に」をビジョンに掲げ、優先的に解決すべき社会の諸課題として、次の3つの領域を設定しました。

- 子ども及び若者の支援に係る活動
- 日常生活または社会生活を営む上での困難を有する者の支援に関する活動
- 地域社会における活力の低下その他の社会に

困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

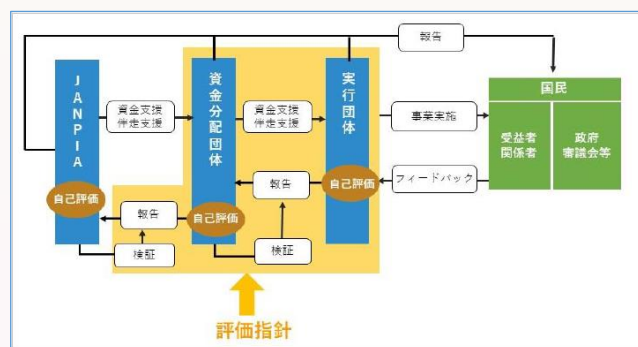
また、対象とする助成事業を以下の4種類としています。

- ① 草の根活動支援事業
- ② 新規企画支援事業
- ③ ソーシャルビジネス形成支援事業
- ④ 災害支援事業

## 実行団体に期待される役割

実行団体には縦割り行政に横串を刺し、公的制度の狭間に位置している具体的な社会の諸課題を抽出することが期待されています。

また、活動の財源となるのは預金という国民の資産なので、事業の実施により、社会の諸課題を解決するだけでなく、事業の透明性や説明責任を果たすため、事業成果を可視化する「社会的インパクト評価」を実施することが求められます。これは、休眠預金制度を機に、民間公益活動組織に社会的インパクト評価の仕組みを根付かせることがねらいのようですが、評価は活動の信頼性をアピールする材料となり、新しい資金の獲得に繋がる可能性があるため、団体の基盤強化になるでしょう。



JANPIA 発行:資金分配団体・実行団体向けの評価指標より

社会課題を解決するために活動している団体はNPO だけではありませんので、多種多様な組織が選ばれることになるようです。また、休眠預金は前例のない社会実験だとして様々な検証を行い、制度開始から5年後(2023年1月)に見直される予定となっています。

# なとセン登録団体紹介

## 朗読・読み聞かせサークルねむの木

もうすぐ設立 10 周年を迎える朗読・読み聞かせサークルねむの木。今回、初代代表の菊地悦子さん、2 代目代表の篠原由江さん、現代表の板橋みね子さんにお話しを伺いました。

読み聞かせを聞いた人が幸せな気持ちになれますように。本を好きになってくれますように。そんな想いが伝わってきます。



左から菊地さん、篠原さん、板橋さん

### ねむの木の誕生

尚絅学院大学の生涯学習センターで実施した市民大学講座「朗読・読み聞かせ養成講座」で共に学んだ仲間と、保育園や図書館で読み聞かせを行うようになりました。活動を始めるにあたり、仲間と出会った季節に大学に咲いていたねむの木を、サークル名にしました。

活動を始めて間もなく東日本大震災が発災。尚絅学院大学のボランティアセンターから、避難所でのボランティアを打診され、文化会館や中学校などに出向きました。ストレスケアとして大人の為の読み聞かせの他にも、歌や体操などを企画し積極的に活動したことで多くの繋がりができ、今でもその出会いを大切にしています。子供たちへの読み聞かせが心の成長に良い影響がある事はもちろんですが、この避難所での経験で多くのことを学び、技術の向上に努め、繋がり続ける大切さを会員と共有し、支え合いながら更なる発展を遂げられました。

### 読み聞かせが大切な理由

読み聞かせは、子ども一人ひとりが、絵本を通して登場人物の気持ちを想像し、喜怒哀楽を疑似体験します。様々な心の変化を知ることで感情が豊かになるのです。柳田邦男さんは(著書:絵本の力)「絵本は人生で3度読むべきもの」だと言っています。まず自分が子どもの時、次に自分が子育てをする時、そして自分が人生の後半に入った時。絵本の中には人生で一番大切なものは何かということがすでに書かれているのだ、というフレーズに感銘を受けたと3人の代表は語ります。

読むことを好きになり素敵な絵本に出会い、人

生の中に「絵本」があることの素晴らしさを知って欲しいと願う時、読み聞かせへの思いが強くなります。読み聞かせる側にとっても、多くの子どもたちとふれあい、学びを共有し個々の成長を見守り応援していくことができるのです。

### 一緒にやりませんか？

現在、尚絅学院大学から独立し保育所や幼稚園、老健施設、図書館などで定期的に活動しています。

団体活動以外にも会員個人がスキルを活かし居住地域などで行う読み聞かせの活動も増えていきます。それは、ねむの木の幹(団体)を中心に徐々に枝葉が広がっていく(地域のための活動)ように感じています。尚絅学院大学が、養成講座を通して参加者に地域のオピニオンリーダーとなり各地で活躍して欲しいという想いは、花開いてきたと言えます。

現在の会員数は 23 名。検討を重ねて絵本を選び、力を合わせて伝え方を工夫しやり切った時の「やったね!」という体験を、一緒に味わいませんか?未経験でも大丈夫です。お気軽にお声がけください!皆さんの入会をお待ちしています。



イベントの様子

### 問合せ

朗読・読み聞かせサークルねむの木

電話 070-5090-4040 (代表板橋)

# なとセン information

## 市民活動支援センターからのお知らせ

なとセンでは、イオンモール名取で市民活動や市民活動体験会を開催したり  
“なとらじ”の放送枠を活用し市民活動の情報発信支援をしています。

### 金曜日は「イオンモール名取」で市民活動を！

毎週金曜日は、「イオンホールA」と  
「あおばコート」での活動が可能です。  
使用時間：午前(9時～12時)、  
午後(13時～16時)・夜間(17時～21時)  
使用申込書は、なとセン HP か窓口で取得  
し、窓口提出してください。



イオンホールA



あおばコート (3F)

### 月曜日午後2時30分は「なとらじ」で！

毎週月曜日、午後2時30分から15分間は、  
なとセンのコーナーです。

皆さん出演しましょう！聞きましょう！  
団体活動やイベントを紹介しましょう！  
なとセンHPに出演表を掲載しています。  
※詳細は、なとセン窓口にお問い合わせください。



問合せ

名取市市民活動支援センター  
TEL: 022-382-0829

## 会計専門相談会 相談者募集中

- 開催日 3月26日(木)・4月23日(木)
- 相談料 無料
- 時間 13:30～、14:45～、16:00～
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 定員 3団体(先着順・個人でも可)
- TEL: 022-382-0829

## 登録団体情報

### 名取子どもミュージカル 実行委員会

新型コロナウイルス感染対策のため

# 延期

- 日時：3月21日(土)開演 18:00  
22日(日)開演 14:00
- 場所：名取市文化会館 大ホール
- 料金：大人 前売 2,000円 当日 2,500円  
高校生以下 前売・当日とも 500円  
3歳以上有料、2歳以下膝上観劇無料
- HP <https://nkm.jimdo.com/>
- 問合せ 090-2368-2611 (熊谷)

## 参加者募集

### 一般社団法人ボディジャンプ BJドッジボール体験会開催

- 日時：3月21日(土) 10:00～12:00
- 場所：名取市市民活動支援センター (5-15-8)
- 持物：なし
- 対象：小学生以上(半)
- 参加費：無料
- 募集期間：3月15日～20日(先着順)
- 申込：lesson@body-jump.com にメールで  
件名 ドッジボール体験会申し込み  
本文 ①保護者氏名②参加者氏名③小学校名・学年  
④連絡先⑤その他(質問など)
- HP <http://www.body-jump.com>
- 問合せ：090-1377-5194 (西間木)

新型コロナウイルス感染対策のため

# 中止

発行日：令和2年3月1日

発行：名取市市民活動支援センター

発行部数：1,000部

編集：特定非営利活動法人 パートナーシップなとり

問合せ先：〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1

TEL:022-382-0829 FAX:022-382-0841

E-mail: npo@natori-npocenter.or.jp

HP: <https://www.natori-npocenter.or.jp>

Blog: <https://blog.canpan.info/natori>

